

# みんなでなかよく のびのびと★



おいしくな〜れ!!



おでかけたの  
おいしいね!!



8番  
らーめん  
来ています★

建て替えから1年半がたち、小規模ユニットケアでの療育や活動の様子、職員の大切にしていることなど笑顔いっぱいな日々の活動をご紹介します!!

## その子らしさを 育む療育

子どもたちは日々生活していく中でそれぞれのペースで成長しています。私たち職員は成長を感じられるその瞬間に立ち合える喜びを日々感じています。その中で子どもとの信頼関係を築くため大切にしていることが「ほめる・認める」です。

成長したことに対して「すごいね!」「上手にできたね」「かっこいいね★」などと声をかけると同時に拍手やハイタッチなどを行い、子どもたちがわかりやすい形でほめたり、認めたりすることで自己肯定感が育まれるように療育に取り組んでいます。そこに至る過程では、子どもたちはたくさんつまづくこともあります。そんなときは結果だけをみるのではなく、がんばった過程を認め、プラスの声かけを行っています。



大切にしているもうひとつの視点として「自分のことを自分で決める」があります。お出かけの行先やおやつ作りなどのメニューを決める際にはイラストやカードなどを準備し、選択すること子どもたちが自分の意志で選んで参加できるようにしています。子どもの意志を尊重しながら自分のことを自ら決めていくことで将来的な生活スキル向上にもつながっていくと考えています。





**HALLOWEEN**

ハロウィン☆  
コスプレして  
ハイチーズ



手作りの  
こいのぼり!!

そうめん  
いくよー!!

おいしい!!  
たのしい!!



野菜作り!!

苗植えから食べるまでを経験しています。

家庭的な雰囲気★

障がいがあっても家庭で経験できるであろう子どもらしい日常を提供できる施設でありたいと考え、家庭的な雰囲気与生活してほしいと願い、職員間で意見を出し合いながら活動の設定や組み立てをしています。

生活の中で必要な物品や学校で使用する物、ごはん作りやおやつ作りで使用する材料などを地域のショッピングモールやスーパーなどに子どもたちといっしょに買い物に出かけたり、近くの公園や外食にもユニットごとに出かけています。

また、季節を感じていただくという手作りのこいのぼりを作ったり、流しそうめんを行ったり、ハロウィンに仮装をしたりと季節ごとの行事を考え、みんなで楽しんでいきます。

入所の理由は、さまざま

ですが、どの子どもたちにとっても家庭的な雰囲気づくりの中生活し、すぐ近くに職員がいることで子どもたちの気持ちに気付き、寄り添うことができるかわりの中で、信頼関係を築いていきたいと取り組んでいます。

子どもたちの笑顔をみて職員も「もつとこうしたい」「笑顔を引き出したい」という思いが生まれ、仕事への活力になっていきます。

子どもたちがどきどき、わくわくして笑顔になるような活動を提供していきたいと思えます。



ユニット化された足羽学園についてインタビューしました。

★光仙課長

子どもたちが家庭的な雰囲気の中、食事やおやつ作り、掃除や洗濯のお手伝いをがんばるなど、自分で生活しているという実感ができるようになったと思います。

☆河野指導員(リーダー)

少人数での生活となったため、子どもたち一人ひとりとかわる時間が増え、子どもたちとの距離がぐっと縮まり、今までよりも家庭的な雰囲気生活できるようになりました。

これからも子どもたちがいるような経験を積んでいけるように、職員みんなで考え支援していきます。